

PRESS KIT



PIAGET

アルティプラノ
2つの魅力





ピアジェは、エレガンスと革新性を極めた、
ゴールドとカーキグリーンの2つの新作
アルティプラノを発表します。薄型機械式メカニズムの
卓越した技術とジュエラーの匠の技が融合した、
アルティプラノ アルティメート コンセプト
トゥールビヨンとアルティプラノ 910Pが、
ピアジェから誕生しました。



ウォッチ製造とジュエリーという二つの分野で卓越した技術を誇るピアジェが、
エレガンスと革新性において新境地を切り拓く2つの特別なモデル、アルティプラノ
アルティメート コンセプト トゥールビヨンとアルティプラノ 910Pを発表します。

1957年に伝説的な9P自社製薄型手巻ムーブメントを、続く1960年に画期的な12P
自社製薄型自動巻ムーブメントを発表して以来、ピアジェは薄型ウォッチ製造の
基準を打ち立ててきました。この革新の精神から誕生したアルティプラノ
コレクションは、メカニズムの洗練された美しさ、技術面における大胆さ、
そしてタイムレスな純粹さを象徴する存在となりました。これら最新作を通じて、
ピアジェはその豊かな伝統に新たな一章を刻み、ウォッチ製造における卓越した
技術と、ジュエリーおよびデザインの分野に深く根付いた芸術性を見事に融合
させています。現在もなおアルティプラノは数々の記録を塗り替え、自らの
限界に挑戦し続けています。そして、2020年には「アルティプラノ アルティメート
コンセプト」がジュネーブ・ウォッチ・グランプリ (GPHG) で荣誉ある
「Aiguille d'Or(金の針賞)」を受賞しました。新作アルティプラノは、約70年にわたる
歩みの集大成であり、エレガンス、革新性、そして職人技の限界を絶えず再定義
し続ける、モダンなウォッチ製造のアイコンが大胆な進化を遂げた作品です。

PIAGET

アルティプラノ アルティメート コンセプト トゥールビヨン

洗練された薄型の アップデート

2024年に発表されたアルティプラノ アルティメート コンセプト トゥールビヨン 150周年リミテッドエディションに続き、ピアジェはカーキグリーンとイエローゴールドの洗練されたカラーパレットが特徴の新作モデルを発表します。コバルト合金製ケースは、今もなお2.0mmという薄さを誇ります。ピアジェにおける技術革新は、それ自体が目的なのではなく、美の純粹性を追求するための手段なのです。ここでは、超薄型のウォッチ製造が、デザインに溶け込むメカニズムの洗練された世界観を表す手段となっています。AUC トゥールビヨンでは、ケースとムーブメントが一体化し、それぞれのパーツが等しく妥協のない精密さで設計されています。ケースバック自体がムーブメントのメインプレートとして機能し、ピアジェが完璧な薄型を追求する中で、一切の無駄を排した高度な一体化を実現しています。

PIAGET





耐久性に優れたコバルト合金を用いた41.5mmのAUCトゥールビヨンのケースには、初めてサファイアケースバックが採用され、キャリバー「970P-UC」の全体を鑑賞することができます。キャリバーに施された多彩なサテンブラッシュとポリッシュ仕上げが、より洗練された現代的な印象を与えています。ケースバックには、ブランドのモットー「常に必要以上に良いものをつくる」と、ピアジェ創業の地であり、今もなお最も卓越した作品を作り続けている歴史的な村の名「ラ・コート・オ・フェ」の二つの刻印が施されています。アルティプラノのデザインの伝統を称え、ピアジェは長年に渡りアルティプラノに用いられてきた十字型モチーフを巧みに再解釈し、ラチェットホイールやバランスホイール、ネジのレイアウトにも取り入れています。この象徴的なディテールが、伝統と革新の繋がりをより強固なものにしています。AUCトゥールビヨンには、ピアジェの金細工技巧を彷彿とさせる新開発の「ポリッシュ・メッシュ」パターンをあしらった、カーキグリーンのカーフスキストラップが組み合わされています。

AUCトゥールビヨンは、AUCやアンディ・ウォーホル コレクションとともに、ピアジェの「インフィニットリー パーソナル」プログラムに加わります。専用のオンラインコンフィギュレーターを通じて、お客様自身がセールスアドバイザーと共にカスタム仕上げや素材、刻印を選び、この画期的なタイムピースを自分だけの個性を映し出す唯一無二のスタイルへと昇華させます。これは、ピアジェの作品はすべて、着用者の個性を反映するものであるべきという長年の哲学を表すものです。ピアジェのアイデンティティを象徴する究極の存在、アルティプラノ アルティメート コンセプト トゥールビヨン。ウォッチ職人の創造性とジュエラーの芸術性が融合した、すべての人に向けた薄型のマスターピースです。

PIAGET

アルティプラノ 910P 日常を彩るアイコン

トゥールビヨンとともに、ピアジェの薄型技術の伝統を色濃く受け継いだ個性豊かな作品、アルティプラノ 910P。ケースの厚みはわずか4.3mm、直径41mmのケースがイエローゴールドで初登場。深みのあるカーキグリーンダイヤルおよび同色のアリゲーターストラップと輝かしいコントラストを描きます。ピアジェの金細工技巧は、ブレスレットやハイジュエリーにおいて高く評価されていますが、この新作ではメゾンのもう一つの代表的な薄型ウォッチ製造技術と見事に融合した、精密な技術と貴金属の芸術性が一体となったタイムピースが誕生しました。

薄型のキャリバー910Pは、単なる機械工学の粋を超えた、視覚的な存在感を放ちます。カーキグリーンに仕上げられたブリッジと、スレートグレーとグリーンのトーンで彩られたペリフェラルローターが、イエローゴールドのケースの温かみを引き立てながら、ウォッチのスリムなプロポーションを損なうことなく、視覚的な魅力を添えています。AUCトゥールビヨンから着想を得た、新しいアルティメートオートマティックの文字盤のネジに施されたさりげない十字型のモチーフが、両モデルに共通するデザインと哲学を結びつける象徴的な要素となっています。

PIAGET





ピアジェについて

ピアジェの独特の魅力はその大胆なスタイルにあります。1874年の創業以来受け継がれるクリエイティビティー溢れるスタイルは、華やかな時計やジュエリーに体现されています。大胆な創造性に対する情熱は、スイスのジュラ山脈にあるラ・コート・オ・フェで生まれました。メゾンの創立者であるジョルジュ=エドワール・ピアジェが、その村にある家族の農場の中に最初の工房を設け、高性能ムーブメントの制作をはじめたのは1874年のことでした。このときから時計職人としてのピアジェの名は広く知られるようになります。パイオニア精神を大切にするピアジェは、1950年代後半に薄型ムーブメントの設計・製造に乗り出しました。メゾンを代表する「アルティプラノ」の礎石となるそのムーブメントはピアジェの代名詞のひとつになり、時計製造の世界に確かな足跡を残しました。同時に、ピアジェは常に創造性と芸術的な価値に重きをおき、ゴールドと色とりどりのカラーの融合、新しいシェイプ、高価な宝石、オーナメンタルストーンの文字盤といったスタイルを受け継いできました。卓越したクラフツマンシップのもと、メゾンは「アルティプラノ」、「ピアジェ ポロ」、「ライムライト ガラ」、「ポセッション」、「ピアジェ サンライト」、「ピアジェ ローズ」、「エクストリームリー ピアジェ」などの素晴らしいクリエイションを創り続けています。

PIAGET

WWW.PIAGET.COM
WWW.FACEBOOK.COM/PIAGET
WWW.INSTAGRAM.COM/PIAGET/
WWW.PINTEREST.COM/PIAGET/
WWW.YOUTUBE.COM/PIAGET
WWW.LINKEDIN.COM/COMPANY/
WEIBO.COM/PIAGET
#POSSESSION
#MAISONOFEXTRALEGANZA
#PIAGET150
#PIAGETSOCIETY

P